

招集期日 平成24年6月21日(木曜日)

招集場所 入間市庁舎5階第2委員会室

開 会 6月21日(木曜日)午後 2時10分

閉 会 6月21日(木曜日)午後 3時34分

| | | | | |
|------|-----|-------|------|-------|
| 出席委員 | 委員長 | 宮岡治郎 | 副委員長 | 横田淳一 |
| | 委員 | 小出亘 | 委員 | 吉澤かつら |
| | 委員 | 金澤秀信 | 委員 | 永澤美恵子 |
| | 委員 | 関谷真奈美 | 委員 | 平山五郎 |
| | 委員 | 宮岡幸江 | | |

欠席委員 な し

説明のため出席した職員 市民部長 都市建設部長
関係職員

委員会に出席した事務局職員 高山 勇 鹿山 明 美

△ 開会及び開議の宣告（午後 2時10分）

委員長 ただいまの出席委員は9名であります。定足数に達しておりますので、これより交通対策特別委員会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

△ 議事

委員長 お手元の次第に従いまして議事に入ります。

まず、1のゴールデンウィーク中の渋滞状況についてを議題といたします。

執行部から報告をお願いします。市民生活課長。

市民生活課長 では、ゴールデンウィーク中の渋滞状況につきましてご報告を申し上げます。お手元に資料をご用意いたしておりますでしょうか。

ゴールデンウィークの渋滞状況につきまして、調査期間といたしましては、平成24年4月27日金曜日から5月6日の日曜日まで行いました。そちらのほうのまず前段階として、アウトレットパーク及びコストコの状況でございます。

三井アウトレットパーク入間につきましては、平常の営業時間、10時から夜の8時、20時まで、その期間におきまして、4月20日金曜日から5月6日日曜日までゴールデンウィークフェアとしてセールを行っております。コストコホール入間倉庫店につきましては、通常10時あるいは9時半という開店時間をそれぞれ早めまして、9時から夕方20時という形でやっております。

車両の誘導方法でございます。1つ目としまして、リング道路の活用強化、2つ目といたしまして、アウトレットP2立体駐車場の活用、3つ目といたしまして、南口入り口から東口への入庫の案内、4つ目といたしまして、施設内警備配置の円滑な誘導強化、5つ目といたしまして、臨時駐車場及び広域誘導案内という形になります。

①から④に関しましては、後ろにございます資料1、10ページになります。そこに概略図がございまして、①で申し上げますと、南口駐車場というのが横判にしますと、下のところの中央にも書いてございます。16号からの入り口という形になります。そこから入りまして、緑の動線を通ってぐるぐる回すというような形になります。P2というのがその図面では左の上というのですか、北側入り口の右側のところでございます。そちらのほうに誘導するというような形になります。こちらコストコの車両をそちらに誘導するという形になります。

③が同じく南口入り口から、一度東の入り口のほうに回すために、風の森聖地霊園の市道を通してそちらから誘導を行うというような形になります。

④、施設内警備の円滑な配置ということで、そこに数字、アルファベットで書いてありますものがそちらの誘導関係になります。

次が⑤という形で、資料2になります。広域誘導という形になります。前回、3月16日の当委員会におきまして、1つ質問がありましたU S Sという駐車場がございます。340台というのが右の下のほうというのですか、コストコ、アウトレットと緑で書いてあるU S S 340と、こちらのほうのご質問がございました。いつから供用開始をされたのだという話で、確認いたしましたところ、平成21年のゴールデンウィークから借用を開始しているという回答がございました。そういった形で連携を図りますというのがまず第1点目になります。

次に、2ページに戻っていただきまして、西武バスの状況でございます。アウトレット等事前協議をいたしました。臨時便の増加をいたしております。乗車率に関しても通常より6割、7割という形で乗客の体調の管理を努めたという形になります。

そのほかに駅ロータリー、アウトレットパーク内に交通誘導員の配置をしております。

2番目です。渋滞状況の把握としまして、4点、アウトレット周辺自治会に渋滞状況の取りまとめを依頼しております。エフエム茶笛に関しましても、その後、情報を提供するよう依頼しております。西武バスからもバスロケーションシステム、あるいはJ A R T I C、財団法人日本道路交通情報センターのウェブサイトからもらったもの、あるいは実際にバス運転手さん等の状況を情報として集めているものでございます。

4点目が私ども市の職員の情報の収集でございます。消防職員と市職員、日直、そして私ども入間市民生活課のほうで行っております。

次に、3番目、これが本題になるかと思えます。まず、1点目がエフエム茶笛の状況でございます。こちらは資料3、ページで12ページになります。一番上の国道16号、八王子方面と書いてありまして、その下にテンテンテンのアウトレット駐車場入り口、5月3日木曜日祝日というのがありまして、上段と下段に14時20分と14時17分というのがございます。上段に書いてありますのがエフエム茶笛で放送された内容でございます。下の部分に関しまして14時17分というのは、私ども市の職員が現地でどこまであったかというのを確認した状況でございます。この辺は一致しているかと思えます。なかなかアウトレット、エフエム茶笛で流している時間帯ですとか、私どもでその時間帯に合わない部分もあるのですが、大体そのような形で集計をしております。

では資料の3ページにお戻りいただきまして、(2)のていーろーどーの運行状況という形になります。平成24年、23年、22年、21年、過去4年間が載っております。ごらんになっていただきますとわかるとおり、5月4日、そこに塗ってあるところでございます。北コース最大80分、南コースが107分、東西コースが95分という形、前年に比べますと大幅に遅延が発生しております。米印1のところに関しましては、代走運行、北と南で最後の4便目を代走運行していると、それぞれで下りでございます。米印2の東西コースの上りの3便、4便、最後の2便です。こちらもやはり代走運行という形になっております。

次が4ページ目になります。路線バスの運行状況という形になります。こちらに関しましては、去年、過去4年間、提示しております。やはり5月4日に最大50分、二本木線でおくれているという状況になっております。去年から比べますと、ちょっとおくれが激しくなっているという状況でございます。

下にあります代走回数、欠車回数、増車回数というのは、5ページの米印1、米印2、米印3に書いてございます。代走回数、通常の定期バスが大幅な遅延により運行できず、運行を確保するために予備のバスが運行した回数、欠車回数、通常の定期バスが大幅に遅延し、運行できなかった回数、増車回数、多客により通常の定期便以外に増回した回数という形になります。

次が消防職員による交通状況の把握でございます。4月27日から5月6日までの中で、やはり5月3日ないし4日というところで、9時から7時までですとか、あるいは10時から6時までという形で渋滞が発生しております。こちらのほうは過去3年間の状況になっております。それが5ページから6ページにかけてでございます。

次に、7ページになります。平成22年から24年までの表でございまして、最大の渋滞の状況を書いてございます。例えば16号の内回り、一番上のところでございますけれども、去年は和田橋付近まででしたのが、ことしはびっくりラーメンまで込んでいると、高倉の山の上のところまで込んでしまっているという状況になっております。それぞれ渋滞の発生が見られました。下に、参考はオープン当時の状況を従前のおり書かせていただいております。

次、8ページになります。苦情、要望でございます。先ほど申し上げましたアウトレット周辺自治会の会長様に地元から上がってきました要望ですとか苦情とかありましたら教えていただきたいという形で情報収集しております。その中で幾つか出てきております。1点目が東金子の16区でございます。こちらのほうは、通常の土日より多くなっているということが1つご意見として上がっております。一方では、他県ナンバーの車両も一時ほど多くはないというようなことで出ております。

次が道幅が狭いため、すれ違いで小さな渋滞が発生するが、特に問題とは考えていない。その他交通事故に関しては、駐車違反等の情報は無いという形になります。

次が宮寺縄竹地区でございます。こちらの方の一番細かいといえますか、いろいろ書いてございまして、1点目が5月3日11時25分ということでございます。1枚めくって、9ページのところに書いてあるセブンイレブン入間店というところですか、武蔵中学校の北側というのですか、大森の交差点から南に上がってきたところでございます。そこから富士ボウルまでの交差点です。「私は、別紙黒線の沿道に住む縄竹地区町民です。他県及び県内市町村からのアウトレット、コストコへのお客様で非常に混雑の道路になってしまい、参りました。会社関係、入間市の方々、毎日交通量は各道路について把握していると思っておりますが、一向に

解消されません。さらなるご検討をお願い申し上げます。困っております。ちなみにセブンイレブン入間店から富士ボウルまでの所要時間が20分弱」ということでございます。

もう一カ所が黒線の道路部分の同じようなところでございますけれども、こちらは日付は特になく、縄竹地区の区長経験者の方でございます。「アウトレット様、コストコ様も入間市、埼玉県活性化には最高の企業と思われませんが、もう少し交通対策にも重点を置いて、縄竹地区、東金子地区、企業関係、入間市等交通対策安全委員会の設置でもと思っております。一個人等では具申なります。連休中も各道路とも渋滞でした。請うご検討お願い申し上げます」。

次が5月3日のご意見でございます。武蔵中学校の通りからハート病院の近くまででございます。「周辺の道に車が入ってきて、家を出るのも帰ってくるのも大変でした」。翌日5月4日でございます。武蔵中学校の通り、「家の裏の道に車が入ってきて、とてもうるさかったです」という形です。

もう一点、9ページの地図の下のところに、藤沢1区に関して、こちらは特にないという報告でございます。

最後に、市のほうに対する直接的な苦情とか要望はございませんでした。

最後、5番目に簡単な考察をさせていただいております。このたびのゴールデンウィークの前半3連休では、目立った渋滞もありませんでしたが、その分、後半の4連休に集中したと思われまして。また、ことしのゴールデンウィークでは、天候が来場者数に影響する傾向も見られたことから、例年の来場者傾向に天候情報も加え、予期せぬ混雑にはP2立体駐車場やリング道路の借用をスムーズに行えるよう、より一層の対策及び連携の強化に努めていただきたい旨をコストコ側とアウトレット側に強く申し入れました。

若干補足を申し上げますと、ことしの天候なのですけれども、先ほどの3日、4日が非常に込んでいたという状況がございます。3日の日の午前中、雨が降っておりまして、比較的その時点では込んでいなかったのですけれども、午後から天気が上がった関係で、そこから込み始めたと、4日の日に関しては、その反動で非常に交通量が多くなったという、コストコ及びアウトレットからの報告を受けております。その状況はどうして吸収できなかったという話になるのですけれども、先ほどU.S.Sの駐車場ですとか、ちょっとお話し触れさせていただいたのですけれども、その時点でコストコとアウトレットの考えとしては、最初の3連休ないし連休後半のほうも1日目で渋滞、お客さんが減るだろうという予測があって、そちらのほうを借りていなかったという状況があって、4日の日が非常に混雑してしまったという回答でございました。

それに対して、ここに書いてあります、また以下の4行のところで、私どものほうからは、そうではなく、柔軟に対応できるようにしていただきたいということを強く申し入れを改め

てさせていただいたところでございます。

最後の4行でございます。宮寺縄竹地区では、依然として週末になると渋滞が発生している状況がありますが、これまでの渋滞対策及びコストコ多摩境店のリニューアルオープン等により、徐々にではありますが、緩和されてきているとは思っております。今後も引き続き渋滞解消に向けて、アウトレット、コストコに強く要望してまいりたいと考えておるとともに、関係機関との連携も強化してまいります。

以上、報告でございまして、もう一件、つけ加えさせていただきます。先ほどちょっと、前回、3月16日の当協議会での質問事項に1点目お答えいたしました。U S Sの駐車場をいつからという話で、平成21年のゴールデンウィークからという話をさせていただいたところでございます。

もう一点ございました、アウトレットとコストコが交通渋滞の交通量調査をさせていただいて、その中で1点質問がございました。今お手元にそのときの資料というのは出てきますでしょうか。前回の資料の中でアウトレットパークとコストコの渋滞対策の中で、23ページになるのですけれども、その中で、平日でも休日でも結構なのですけれども、駐車場の最大在庫台数というご質問がございました。特に休日の部分の駐車場の最大在庫台数が1,107台でありというくだりがあるのですけれども、今回の資料にもございますコストコの関係で、コストコ入間店の駐車台数が880台と、それに対して在庫台数が1,107台、単純にして227台という話、ここには220台程度不足している状況にあるというくだりがあって、この最大在庫台数はどういう考え方なのだというご質問を3月のときにいただいた経過がございます。アウトレットに確認いたしましたところ、出口と入り口で時系列的に駐車台数をカウントするのだと、駐車場の出口と入り口ですね。例えば用意ドンで9時から調査を始めて、10時、11時という形ではかったときに、5時の時点でカウンターが何万台になっているのか、どういう形かわからないのですけれども、その時点で何万台になる。出た数も何万台になると、その差額で出てくる。それがこの1,107台なのだというお話でございました。

では、そんなに駐車場の中に、880台しかないのに、駐車場の入り口と出口でいるのですかという質問をさせていただいたところでございます。アウトレットに関しては、さっきのリング道路が非常に長いので、そこそこは中の道でたまるのだよといいますか、収集しているのだという話なのですけれども、コストコに関しても同じ答えでございまして、1点目は、1ページめくって21ページのところに地図があると思うのですけれども、三井アウトレットパーク入間と書いてある、そのところに線が引いてあると思うのですけれども、アウトレットパークの外周道路になります。そういったところですか、コストコのあの駐車場が2層半というのですか、2階建て半というのですか、1階に売り場がございまして、2階と3階がほぼそのままの100パーセントの建て屋になっております。3階の部分が若干、全体で

はないのですけれども、駐車、3層構造になっています。そういった車路にたまっている台数があって、220台という数字的な計算になるという形でございます。

ちょっと蛇足になりますけれども、実際の話といたしまして、今の資料のところの24ページに渋滞状況というのが同じく書いてあるかと思えます。こちらは距離で表示されているものでございます。例えば最大で休日のところ、国道463バイパスに向かって443メートルという、工業団地入り口から国道463バイパスまで443メートル、こちらは台数では表記はできないということで、こういった書き方をされている。

〔(四千三百……) と言う人あり〕

市民生活課長 4,330台でございます。という形で書いてございまして、こちらが相当数、アウトレットなりコストコに入庫する車も含まれているとは思いますが、明確にどこに行く車かというのはわからないので、アウトレット側の申し出としましては、そういった形で距離表示をさせていただいているという報告でございます。

以上、前回の質問事項に対する答えでございます。

以上、報告とあわせてご報告申し上げます。

委員長 ありがとうございます。

ただいまの報告に対し、質疑などございましたらお願いします。

永澤委員 大体以前と余り変わらないということが、よくわかりまして、毎回毎回本当に担当課にはありがとうございます。

この中でやっぱりバスなのですけれども、ていーろーどに至っては、1日4便という形が2時間近くおくれが出るということは、代走されていると言っても、それをずっと外で待っている方のことかと思えますと、本当に何とかしなくてはいけないなという思いがあります。また、二本木線、こちらちょっと手前みそになってしまうのですけれども、1日に6便ぐらいしかないバスなのです。その中でその1つが50分とかおくれしていくということになりますと、乗っている人に見てみたら、反対にやっぱり全く来ないとか、来てもいつ着くのだろうというような形になってしまうと思うのです。これは最初からの問題なのですけれども、この前のときにもこのことはお話をさせていただいたのですけれども、二本木関係の方でバスについて、渋滞そのものはさほど問題なかったとしても、この西武バスの運行ということでの何かご意見とか、そういうものの聞き取りというのは行っていただけたかとか、ちょっとお伺いしたいのですけれども……。

市民生活課長 そこに住んでいる住民の方ということなのですけれども、先ほど、区長さんあてには、また今回もそういった情報収集にご協力をいただきたいという形で、あらかじめ書類といたしますか、紙を渡して、それによってあったかどうかというのを把握しているというところで、そのバスに関してという部分では、特にはなかったという形になります。

永澤委員 そうしますと、宮寺関係、小谷田関係、全部の自治会長さんにそういう苦情があったらお知らせくださいということをお願いしていたということですのでよろしいのですか。

市民生活課長 先ほどの資料の2ページに書いてある3つの自治会ということで、東金子の16区、宮寺縄竹の自治会と藤沢の1区の自治会長さん、3カ所でございます。

永澤委員 一番困っているのって、その先の自治会かなというのはあります。バスに関してはですね。混雑に関しては、皆さん、正直込んでいるのがわかるので、賢くなって、絶対入間の中心は通らないで抜けていらっしゃる方が多いのではないかなと思うのです。ただ、バスを使用しなければいけない方にとっては、非常にこのおくれというのは大変な問題になってくると思いますので、次回、この3地区だけではなくて、その先の西武住宅とか、ほかの自治会にも、本当にこれ、このアウトレットのあるところの自治会だけですので、その近隣含めて何かあったらというお知らせだけでもしていただけると大変ありがたいのですけれども……。

市民生活課長 では、それはそのようにいたしますので。

金澤委員 私も市民生活課の職員がいつもゴールデンウィークの休みのたびに出て、家族サービスどうされているのかなって、これ大丈夫なのですか、ちょっとそこのところまず先にお聞きして、ちゃんとローテーションを組んでうまくやっているのか、もういいかげんにそろそろ撤退させてくれと本音では思っているのか、やっぱり正直言って、家族のある方も多いでしょうから、まずその部分、ちょっと聞きたいと思いますけれども……。

市民生活課長 1点目はローテーションを組んでやっております。1回ないし2回の出勤という形になっております。1つあるのですけれども、例年ですと、ゴールデンウィークとシルバーウィークと2回ご報告させていただいているかと思えます。今回、9月のシルバーウィークに関しては、休みがちょっと不規則といいますか、それほど休めない、最初が土日で、土曜日が15日だったかな、なっているかと思えます。土日と、その次が金土日か何かで、連休といっても最初の土日が15日の敬老の日なのですけれども、もともと一般の、週休2日ですとそもそも休みという形で、次が3連休なのですが、ちょっと余りまとまった休みではないので、どうしようかねと、ちょっと内部では検討しているところでございます。

ただ、今まで、先ほど申し上げたように2回やっているということで、そういった状況ではどうなのか、逆にとっておいたほうがいいのかと考えてはいるところではございます。

以上でございます。

金澤委員 そうはいつでも、やっぱり負担ではないかなというふうに思います。だからといって、ではもう統計とらなくていいというわけにもいかないし、地元の方は本当に困っていますので、ちょっとその市民生活課だけでいいのかどうか、もうちょっと枠を広げ、部の中でローテーションも考えられないのか、幅広く、職員の負担というものも視野に入れて検討をお願いしたいのですが、部長のほうからいかがでしょうか。

市民部長 そうできれば一番いいのですけれども、他の課も、市民部は土日の勤務が非常に多くて、なかなかローテーション組むのも難しい状況もございます。ただ、負担になるようであれば、それはそういうことのないように、他の課にも協力をお願いしてローテーションなりを考えていきたいと思えます。

金澤委員 入間市はまじめな職員が多いので、なかなか言い出しづらいようであれば、しっかりと本音の部分を取り取っていただければというふうに思えます。

では、個別に移らせていただきます。まず、3ページなのですが、今永澤委員のほうからもありましたていーろ一どの遅延の状況です。この5月4日、ひどい状況なのですが、1つ確認なのですけれども、その5月4日に関しては、おくれがすごいので、代車運行をそれぞれ各コースにしたと書いてあるのです。ということは、つまり代車運行をしてもこれだけおくれたのか、結果的にその車自体はおくれているのだけれども、基本的にそれがそのまま次の便、その便がおくれた分のしわ寄せがいかないように、代車によって、つまり次、新しく来る人はちゃんと、そこそこ定刻どおり代車によって行ったのか。そこがちょっと確認なのです。つまり、乗っている人は延々と乗っているわけだから、おくれるのでしようけれども、今度次のその便が例えば入間市駅に戻って、その戻ってきた便を待つ人も待たされたのか、そここのところいかがでしょうか。

市民生活課長 この表現といたしますと、4便目、最後の、1から7まであって、この下りの便が一番最後になりますので、その便の前、要するに上りの3便ですか、それがおくれでしまっている状態になっています。ずっとおくれがたまってきてしまっていて、最大マックスになってしまいますので、最後の4便目を代車運行というのは、ちょっと正確ではないですけれども、それを待たずに、西武の判断で、4便目は発車させてしまうという形になるかと思えます。それが東西コースにしては3便と4便ということで2回やったということです。都合4台分代走をさせたという形になります。

金澤委員 ということは、簡単に言うと、その3便目に乗った人は、例えばその人は到着がおくれたけれども、その3便目が終点について、そこからまた始発になって戻って、次の4便目が出る人は定刻どおり出発したという理解でいいのですよね。

市民生活課長 はい、そのとおりでございます。

金澤委員 あわせて、ではその代車、増車したときに、西武さんに予備車を出していただいていると思うのですけれども、これについて割り増しの請求というのは西武さんから来ていないのですか。それともサービスしていただいているのですか、いかがですか。

市民生活課長 基本的には来ません。来ないと考えております。

金澤委員 考えておりますというのは、つまり考えるのではなくて、ちゃんと請求書が毎月来るからわかりますよね。追加費用は発生していないのですね。

市民生活課長 では、調べましてご回答申し上げます。

金澤委員 もし費用が発生しているとか、渋滞することによって当然燃費も悪くなるわけですから、そこについては余りにもひどいようであれば、コストコ、アウトレットに費用弁償をしていただくぐらいの気迫を持って臨んでいただきたいというふうに思います。

続きまして、7ページになるのですけれども、幹56号線の平成24年度、健康福祉センター方向、渋滞なしとなっていますよね。これどういうことなのですか。本当に渋滞していなかったのですか。それとも情報がなかったのですか、どちらですか。

市民生活課長 こちらのほうは渋滞という情報は、私どもが調査していないという形になります。

金澤委員 では、そうすると、この最後の資料5はありますね。資料5。資料5の例の健康福祉センター、藤宮道路をバイパスにぶつかって上藤沢から、北から上藤沢交差点まで渋滞していますよね。ここだけ渋滞して、藤宮道路のこの東行きというのですか、ここは渋滞しないというのは、バイパスが渋滞している以上考えにくいのですけれども、どういうことですか。

市民生活課長 結果論といたしまして、信号のつながりとかの関係で、その渋滞が発生したと、国道の463のバイパスの上藤沢のところ渋滞したという形になる。

〔(こことここはいつも渋滞する) と言う人あり〕

市民生活課長 するのですけれども、たまたまなのかもしれないですけれども、その幹56号線に関しましては、工業団地から上藤沢の交差点までは渋滞がなかったという形になります。

金澤委員 ちょっとうなずけないのですけれども、見ていただいたということでしょうから、信用させていただきます。

では、8ページに移ります。各自治会への話なのですが、この各自治会、特にこの宮寺縄竹地区が、この3地区の中ではお困りなのだろうというのはわかるのですが、こうやって交通対策特別委員会にこのアウトレットに関するいろんな資料、U S S含めて駐車場の対策状況も含めて資料出しているのですが、この同じ資料を自治会長さんにお配りされていますか。

市民生活課長 しておりません。

金澤委員 どうなのでしょう、やっぱりその自治会長さんたちも、市もしっかりと議会側が主体的になって、この渋滞対策やっているのだということ、見ているだけではなくて、取り組んで、少しずつ成果が上がってきていますよと、駐車場もふえてきていますよというのを、やっぱり地元の方に、市民の方にご理解いただくために、この資料をお配りして、できれば説明をしていただくのが一番なのですが、少なくとも手渡しして、各自治会に配布するというのはいかがなのでしょう。ちょっとそれは、職員の方だけの判断ではなくて、この委員会の皆さんにもお諮りしたいのですけれども、これは私の質問が終わった後、1回皆さんでご審議いただけたらというふうに思います。委員長、後の取り計らいよろしくお願いします。

委員長 では、後ほどお取り計らいいたします。

金澤委員 次に、9ページのところで、渋滞傾向について総括されているのですが、その説明のところで、ゴールデンウィーク前半、大したことがなかったのに、後半のU S Sを借りなかったと、三百数十台、これはちょっとうなずけない話で、去年、3ページを見ていただくと、戻っていただくとわかるのですけれども、ていーろーどーの運行状況ね。基本的にゴールデンウィーク後半、2、3、4あたりが常に込んでいるわけなのです。それなのにことし前半大したことがなかったから後半大丈夫だろうと思ってU S S借りなかったというのは納得できないのですけれども、どういうことですか。

市民生活課長 大変申しわけございません。U S Sの関係につきまして、認識がちょっと違っておりました、4日の日もU S Sは借用しておりました。一方で、三井アウトレットパークに関しましてはU S Sを借用していたと、コストコと今度三井の関係になります。コストコがその状態においては、Pの2の立体駐車場を借用するという玉突き状態というような形で利用を図っているという前お話し申し上げたかと思うのですけれども、そのコストコが三井のP2を借りていなかったということでございます。

〔何事か言う人あり〕

市民生活課長 はい。大変申しわけございません。先ほど4日に関してU S Sを借りていなかったのだというお話し申し上げましたが、それはちょっと撤回させていただきまして、そのときも三井はU S Sを借りておりました。ところが、コストコが三井のP2を借りていなかったという形でございます。

金澤委員 その訂正については了解いたしましたけれども、でも結局は、やっぱりコストコさんが、正直言ってアウトレットによる渋滞よりもコストコさんによる渋滞の原因のほうが大きいというふうに今まで私も判断していますので、その主体者であるコストコさんがアウトレットのP2を借りていなかったというその意識の危機感欠如というのは、先ほども注意というか、指導していただいたという話なのですけれども、これよくよく厳しく指導していただけたらというふうに要望して終わりたいと思います。

委員長 ほかに質疑などありますか。ありませんか。

〔発言する人なし〕

委員長 なければ先ほどの金澤委員の提言で、この交通渋滞の傾向についてのこの資料を、少なくともこの調査にご協力いただいた自治会さんに提供するという提言がありましたけれども、これについてはいかが取り計らいますか。

平山委員 金澤委員にちょっと聞きたいのだけれども、その配布するのは、例えば宮寺でも縄竹ばかりではなくていろいろあるわけだ。そういうところまで配布するということかな。

金澤委員 まずは、少なくともこの文書による聞き取り協力をお願いしているわけですから、聞き放

しですよというわけにはいかないわけですよ。だから、市としてもこれだけ毎年対策もしています、いろいろ配慮もしていますというのをセットでしないとまずいただろうと、誠意がないということなので、その先に、ではその3地区以外にどこまで広げるかとなったときには、先ほちょっと永澤委員のほうからも出た、今度本当の渋滞混雑を直接的に受けている地域、地元自治会ではなくて、その先のバスの運行まで考えたときのその先の自治会、ここまで、ではどこまで広げるかというのは、またちょっと改めて皆さんのご意見伺えればと思うのですが、私は少なくともこの3自治会に関しては必要だろうというふうに考えています。

平山委員 それなら非常に結構だというふうに思っております。ただ、永澤さんが言ったように、西武地区とかそういう関係があるから、もし配布できるのだったら、やってもいいのではないかなというふうに思っております。

委員長 ほかにご意見ございますか。

〔発言する人なし〕

委員長 配布するという方向でよろしいですか。

では、配布の範囲につきましては、いかが取り計らいますか。今話があったように、3地区に限らず、二本木でしたか、西武、その他のさらに渋滞の厳しい地区などについても配慮して配布すると。

金澤委員 多分そこは平山委員が一番よくご存じなのでしょうけれども、その自治会、地区の連合区長会ってありますよね、各地域の。だから、そこを飛び越えて直接自治会長にというよりは、しかも自治会長なんかは1年ごとにかわってしまう自治会長もありますので、そういう意味からすると、その自治会の連合区長会、それぞれの地域の区長会長さんにお渡しして、どこまで配布するのかを決めていただいたほうがいいのかと思うのですけれども、いかがですか。平山さん、参考意見。

平山委員 いいと思います。連合区長会に会長さんがいるのだから、各地区に、そこに持って行ってどこに配ったらいいと聞くことは結構だと思います。

委員長 これに関してほかにご意見ございますか。

では、どの範囲の連合区長会に配布してよろしいと。

平山委員 まず、東金子、16区が入っているわけだから、宮寺地区、藤沢地区の一部というのかな、その辺ではないですか。

委員長 二本木は。

〔(宮寺二本木) と言う人あり〕

委員長 宮寺二本木、2つありますか。

では、東金子地区、藤沢地区、宮寺二本木地区の3連合区長会を対象に資料を配布するというところでよろしいですか。

〔(はい) という人あり〕

委員長 では、そのように決定いたしました。

執行部、そのようにお取り計らい願います。

市民生活課長 わかりました。

委員長 よろしく願います。

ほかにありませんか。

関谷委員 藤沢1区に関してなのですけれども、ここは毎年区長さんがかわって、区長さんに何かを言いに行くという風習が余りないのですけれども、ここ必ず込んでいるので、もう皆さんあきらめていて、苦情とかそういうのも区長さんにわざわざ言いに行かないのだと思うのですが、もうちょっと何か聞き取り方の工夫って何かあるでしょうか。

市民生活課長 なかなか難しいかとは思いますが。直接お電話をいただいて、込んでいるよという話で伺うとか、そういう形になってしまう。あるいは、先ほど窓口としては日直にもその期間に関しては何かあったらメモをとっておいてくれと、記録をとっておいてくれという話はさせていただいておりますので、そういったように直接もう言っていたらどうか今のところはなはいとは思っております。

関谷委員 では、感覚としては問題がないというよりは、あるけれども、言わないということ、何となくわかっていただけるとうれしそう思うのですけれども、どうでしょうか。

市民生活課長 先ほど関谷委員さんも言っていたように、あきらめているというのも若干やっぱりあるのかなと私も思っております。

委員長 よろしいですか。

ほかにありませんか。

〔(ありません) という人あり〕

委員長 なければ、ゴールデンウィーク中の渋滞状況についてを終わります。

次に、2の自転車の交通安全対策についてを議題といたします。

去る5月21日に狭山警察署交通課長をお呼びして協議会を開催いたしました。これについて意見交換を行いたいと思います。

意見、感想などございましたら願います。

できればお一人お一人から伺いたいと思います。

小出委員 この間お話ししたので、特にはないのですけれども、どっちかという、自転車の運転が危ないということで、車のほうがどういふふうにつけるのかなという部分も必要かなと、ちょっと漠然し過ぎていてあれなのですけれども、そういうふうになりました。そんなところでは。

吉澤委員 いただいた資料を見させてもらって、その事故の状況とかかなり傾向があらわれているな

というふうで、やっぱり若年層に多いですか、自転車側のその違反という部分と安全を怠ってしまったことが原因で起こる事故が多いのかなという部分で、やはり自転車に乗る人のその注意を促すようなことが必要なのだろうなということと、あと事故が起きている発生箇所についても、同じような箇所で起きているというよりかは、やっぱりばらついている部分があるので、道路の形態とかに限らず、やはり安全確認のほうを怠ってしまった結果なのかなというふうにも思うので、やはりその自転車側、自動車側とかもそうなのですから、お互いに気をつけなくてはいけないなという部分で、ちょっと注意を促すようなことがやっぱり重要になってくるなというふうには感じました。

金澤委員 当日、さんざん聞きたいことは聞かせていただいて、言いたいことは言わせていただいたので、重複は避けたいと思うのですが、その後、もう一度自分なりに振り返ったときに考えたのは、やっぱり自転車の乗っている方が加害者になるケース、この間も健全育成の場でお聞きしたのですけれども、たしか2,000万円か3,000万円の損害賠償を背負われた方がいるということで、自転車に乗っていた方が加害者となって、というケースがこの地域であったようなのです。そういう意味からすると、自転車の保険の加入状況というのをやっぱり一度どこかできちっと現状調査をしていただいて、それは一般の方と、あとは中学生、高校生ぐらいのレベルの、世代ごとにちょっと加入状況の一斉調査をしていただいて、まず現状把握をして、それに基づいてそのキャンペーンを張るなり意識啓蒙を図るなり、何か有効な手を打つ必要があるなというふうにも今現状感じています。

ちょっと1つお聞きしたいのですけれども、数字について、その加入率等についての把握というのは、今されていますか。

市民生活課長 しておりません。

金澤委員 では、そういうふうにも、なおさら意を強くしました。

永澤委員 やはり私も自転車については残念だなと思って、すぐには検挙できずに、1度目は注意に終わって、無灯火とか2人乗りとかというので、やっぱりそれが車でしたらもう1回で点数がつくものですから、やはりその辺の甘さというのがまだまだ自転車事故が減らない、違反が減らないというところに起因するのかなというふうに思いました。

個人的にもうちの息子も2人乗りで何かレッドカードとかいうのを警察からいただいてきたのですけれども、うれしそうに飾ってあったりして、何もなっていないという、本当にその場で捕まえて3,000円でも取れば本気になったのかなと思うのですけれども、その辺大変残念だなんて思います。

あと外側線に対して私が非常に感じたのは、外側線というのはあの位置が決まっていたと思ったら、反対にもうちょっと協議によっては、人が歩けるような形にふやすこともできるということでしたので、今後小学生の通学路なんかに関しては、もうちょっと太目の外側線

にしてもいいのかなというふうに思いました。

それと、スケアードストレート教室の実施の日程をいただきまして、これは事務局ですか、大変にありがとうございます。まだ、ちょっと私のほうは26日なのですけれども、ぜひ見させていたいただきたいと思っております。

以上です。

関谷委員 警察との協議とはちょっと違うのですが、私スケアードストレート教室を見てまいりました。藤沢中に行ったので、中学生と、あと近隣の小学校5、6年生が来ておりました。プロのスタントマン、つまり役者さんの演技が上手で、一番最後には落ちがあって、これから見に行く方がいるので、落ちはちょっと言わないようにしておくのですけれども、余りに演技が上手だったので、中学生の女の子が泣いていまして、これは確かに小学生の低学年には見せられないのかなというのはありました。ただ、本当に演技が上手で、酔っぱらって自転車に乗る演技とか携帯電話をかけながらする演技とか上手でした。近隣の方にもどうぞ来てくださいということになっているそうなのですけれども、平日の昼間ということで、近隣の方、保護者はほとんどいませんでしたけれども、もっと宣伝して、近隣の方とか、あと平日の昼間難しいのだけれども、高校生に見てもらいたいなというのを強く感じました。

ただ、1回ごとに車のフロントガラスに本当に割っていますので、とんでもない費用がかかっているのだなと思って、やっぱり続けることとか、毎回入間でやってもらうのは難しいのかと感じました。でも、効果が非常にあると思います。

以上です。

宮岡幸江委員 自転車の交通事故に対しては、本当に老人が歩いている方が自転車によっての事故というの、なかなか被害者と加害者の立場というのが前から結構問題になっているとは思いますが、先ほども保険のことも言っていましたけれども、そこら辺の充実というのをもうちょっとしておかないと、これからますます大変かなというのはこの間お話を聞きながら思ったところです。

それから、今お母さんの後にくっついて幼児がよく一緒に連なっていく辺をもうちょっと、お母さんたちにも指導というか、少しそういうことも必要なのかなというのがちょっと感じたところです。

自転車に関しては、これからふえていくことになるのかどうかかわからないけれども、道路整備も含めて問題は多いというのが感想です。

平山委員 ちょうど私は、あの日は霞川の清掃、議長の代理で行っておりまして、途中からここに出席をさせていただきました。帰ってきて皆さんの意見交換を聞いてみますと、大変積極的な交換ができたというふうに感じました。

以上です。

横田委員 やっぱり聞いていて、自転車を運転する方のマナーの部分が一番重要なのかなというふう
に感じたところで、ただやはり県、市がこの4月1日に条例が施行されたということで、条
例での罰則規定はないから、道交法によってのみ対応しているということだったので、この
辺がきちんとこれから整備されて、マナーをきちんと自転車を運転する方に守ってもらうよ
うな方向に進んでいくこととか、それを見守っていくしかないかなと、しばらくはとい
うふうに思います。ただ、行政としてできるのだったら、あらゆるところにマナー教育とか
そういう場をつくっていけばいいし、先ほど保険の話もありましたけれども、損害賠償の金
額相当多いので、法的に自動車の自賠責みたいのができればいいですけども、できない
うちはそういうのを啓蒙していくとか、そういう方向をこれから続けていったほうがいい
のではないかなというふうに思いました。

委員長 ありがとうございます。

ただいまそれぞれの委員の方々の発言を踏まえまして、さらにご意見がございましたらお
願いいたします。ありませんか。

金澤委員 関谷委員が発言された高校生にやっぱり必要だろうと、アイポットを聞いて、携帯でしゃ
べりながらというのは、確かに高校生が私も一番目立つように感じます。そういう意味で、
今回中学校だったのですけれども、市内とか近隣の高校で今回のようなスケアードでしたっ
け、の講習というのはどうなのでしょう。講習の状況というのは、聞いていますか。

市民生活課長 申しわけございません。聞いておりません。

委員長 永澤委員、何かご存じですか。

永澤委員 この前、狭山ヶ丘高校がというお話、どなたかしませんでしたっけ。

市民生活課長 スケアードストレートではなく、狭山警察署とかと連携をいたしまして、高校の自転
車のマナーアップキャンペーンというのは各校で1校ずつぐらい毎年やっております。おと
としが狭山ヶ丘高校で去年がたしか入間高校だったと思います。ちょっと高校は非常に不明
瞭なのですけれども、1校ずつ指定をして、そこに警察官や、私どもの交通指導員が行って、
自転車の乗り方みたいなマナーアップをやっております。

金澤委員 実際このスケアードストレート自体は、多分学校教育のほうなので、所管が違うと思うの
です。実施主体が学校教育のほうでやっていますから、ただ、とはいえやっぱり自転車の交
通安全という意味からすると、やっぱり市民生活課さんのほうも関係してくると思うのです。
そういう意味で、やっぱり地域の人に、特に高齢者に見てもらいたいという話もあるので、
ちょっといろいろ費用、予算の関係もあるのでしょうか、どこかその高齢者の集まり
のときにやっていただくということは不可能なのでしょうか。

関谷委員 余り高齢だと刺激が強過ぎる可能性はあります。人によるけれども、それは。

金澤委員 年齢にもよるいろいろなあると思うのですけれども、それこそ高齢者で元気に、グラウン

ドゴルフやって、道具を自転車の前のかごに突っ込んでかっ飛ばしている高齢者もうちのほうにはいるので、東藤沢が元気な年寄りだけが多いとは限らないのですけれども、そういう意味からすると、そこの会場近くに行くと、こういう横切る高齢者が多くて、非常に私は怖い思いしているのです。そういう意味からすると、グラウンドゴルフの大きな大会があったときに、多くの高齢者が集まりますので、そのときにちょっと第1部、第2部分けて、そういうスケアードストレートをやっていただいたら効果的なのかなと、ただそれでショック死されて、心臓とまっても困るのだけれども、ではちょっとやわらか目にやっていただくとかなんか検討、これ要望させていただきます。

以上です。

委員長 ほかにご意見はございますか。

ありませんか。

〔(ありません) と言う人あり〕

委員長 なければ、自転車の交通安全対策についてを終わります。

次に、3の今後の調査研究方法についてを議題といたします。

まず、テーマについてですが、自転車の交通安全対策についてに絞るのか、危険な踏切と市道の整備についても入れるのか、そのあたりを中心に協議したいと思います。これについてご意見をお願いいたします。

平山委員 1月26、7日だったかな、踏切についての現地調査をしたと思うのです、この委員会で。私のほうは、八高線、金子駅で、6カ所踏切があって見ていただいて、3カ所というのが大変非常に危険な踏切なわけです。そして、仏子、それから藤沢のほう、あの辺も大変危険な踏切があるから、ぜひその踏切については今後の協議事項にさせていただけたらというふうに思っております。

委員長 ほかにご意見ございますか。

金澤委員 私も見させていただいて、生まれて初めて行くところも多かったのですが、ここまで入間市なのかというのは、改めて入間市広いなというのは勉強になったのですけれども、やっぱり一番感じたのは、いわゆる仏子のあの金子坂をおりたところの……

委員長 2号踏切だ。

金澤委員 2号踏切というのですか、あそこ、くねっているところ、あれ真っすぐにして、一方通行をなくして拡幅したら、それは便利になるだろうなというのは強く思ったのですけれども、ただ金額はかかるとは思ったのです、確かに。何かまちの構造そのものを変えるわけですから、それを今の段階で具体的に気にはしていかなければいけないのですけれども、この委員の中で協議をするとなったときに、ではどういう協議ができるのかというのが、ちょっと我々の議員のレベルでちょっと見えないのですけれども、そこはどうなのでしょう。どうい

協議はできるのかなと。

委員長 一応委員長から申し上げますけれども、これは要望という形にするのか、提案という形にするのか、どういう形に報告するかということもきょうまとめていただきたいと思っております。要望なり提案なりの形でまとめていく方向でよいかなども協議いたしたいと思えます。

〔(最終的に) と言う人あり〕

委員長 最終的にです。つまり、これは、最終的には恐らく来年の2月定例会ぐらいですか、委員長報告ということで本会議で報告することがあると思うのですけれども、それが一つの時間的な制約があるわけです。その範囲で、それまでに期限として要望なり提案なりの形でまとめていく方向でよいのか、またはそこまでしなくてもいいのかということもあるのですけれども……。

宮岡幸江委員 今金澤委員から言われて、もうまさにと思ったのですけれども、地域の中だけではとても、これ入間市全体で考えていただくことだと思うのです。最初に道路対策というか、ここに入ったときに、南北道ということをお私はずっと言ってきたのですけれども、まさにあそこは南北道なのです。やっぱり都市計画道路でも、あの地区は全く入っていないのですけれども、あそこが真っすぐになれば、駅前の混雑も緩和しますし、いろんな面で交通対策につながっていくと思うのです。だから、この委員会として、今委員長が言われた要望書なりまでに、とりあえず持っていってもらえれば、結構、それがすぐ実現しなかったとしても、委員会としてのそういう記録として上げておいていただくとありがたいかなと思います。

委員長 ほかにご意見ございますか。

関谷委員 時期まで考えると、2つ取り上げるのはちょっと難しいのかなと私は思うのです。自転車にするのか踏切にするのか、どっちかにするのかというのは、ちょっと今意見は言いませんけれども、2つ取り上げられる時間はあるのかなと、特に踏切を選んだ場合は、さらにこれから協議しなければいけないこともいろいろあるし、自転車に関してはまだ、自転車のうちの何を選ぶかということも何も決まっていないので、テーマとしては1つが限度なのかなと思います。ほかの方はどうでしょうか。

委員長 自転車のほうに1つに絞るべきだという意見もございましたが、ほかにご意見ございますか。

金澤委員 時間のかけ方もあるのですけれども、せつかく踏切については現地調査もしたことで、現地の生活上の不便さと、あとはプラス危険度というのは私自身も理解はしたのです。だから、取り上げないとなると、この特別委員会として改善のための要望書も取りまとめられないという形になってしまうので、協議の深さというのはあるのですけれども、同時並行でもいいのかという気はしています。

委員長 ほかにご意見はございますか。

永澤委員 今、仏子のところの2号の話出たのですが、牛沢のところも一向にという、すべて何か結局、踏切のって理由があつてとまってしまっている、多くは予算なのですけれども、そういうところでとまってしまっているけれども、担当課はやりたいという思いは強いというのをすごく感じております。やはりそういう意味でもどこを一番に優先順位にするのかとかいうのも含めて、この中できちっと協議をしていきながら、最終的には要望書という形で、この交通対策特別委員会の要望という形で提出をさせていただくまで持っていければいいなと思っております。

委員長 ほかにご意見ございますか。

吉澤委員 私も踏切について現地調査したので、何もアクションを起こさないというのは、ちょっともったいないなと思うのと、あとやはり現地に行って、やっぱり危険だなというのは共通認識になったと思うので、具体的な提案をどこまでするかは別として、一致するところで要望あたりは取りまとめられたらというふうに思います。だから、その時間はどこまで割くとか、どこまで踏み込めるのかというのはちょっとわからないですけれども、あとは自転車についてはやっぱりいろいろ話が深められそうなら、それについてももちろんしていったらいいのかなとは思いますが……。

横田委員 やはり踏切の現地調査も行っているし、自転車のことに関しては警察署にも来てもらっていますので、交通対策特別委員会として真剣にじっくり取り組んできたことですので、ぜひできる限り、この両方のテーマについて、この交通対策特別委員会としてこういうふうにしてもらいたいというのをしっかり、できる限りいいものをつくって、要望をしていったほうがいいと、やはり特別委員会としての要望となると、その重みが違うと思うのです。なので、ぜひともそういう形で進めていただければというふうに思います。

小出委員 自分は、自転車で事故を起こして、それであの踏切を見に行けなかったということです。余り言える立場と言えない立場がありますけれども、でも皆さんと同じで要望しなくては行けないなというふうに思います。

委員長 2つともという考えなのですが、関谷委員、よろしいですか。

関谷委員 はい。皆さんそう思うのなら。

委員長 よろしいですか。

関谷委員 はい。

委員長 では、自転車の交通安全対策についてと危険な踏切と市道の整備についての両方を要望の形でまとめていくという方向で今後協議するというところでよろしいでしょうか。

金澤委員 このアウトレット、コストコの渋滞対策についても改めて今年度の取りまとめ、中間報告になるのか最終報告、最終報告ではないですね。中間報告としてやっぱり要望書はきちんと、やっぱりどこかの時点で、これはまず最優先でまとめなければいけないというふうに考

えています、いかがでしょうか。

委員長 これについてご意見ございますか。

宮岡幸江委員 これずっと順を追って来ているので、当然それはあるべきことだと思っています。

委員長 継続性のある内容であるということですか。

〔(はい) という人あり〕

委員長 ほかにご意見ございますか。

金澤委員 私が言いたかったのは、つまり以前にも要望書は出しているわけですね。出しているのですけれども、今回のいろんな審議、検討を踏まえた上で、また新たな視点で、評価すべきところは評価する。しかし、まだまだ足りないと思われるところをきちっと委員会として要望書という形にまとめて、この例えば2月なら2月を目標にまとめられたらいかがでしょうかと言っているのですけれども……。

委員長 今金澤委員のご意見がありましたけれども、これについて何か。これも含めでよろしいですか。

〔(いいんじゃないですか) という人あり〕

委員長 よろしいですか。

では、今2つ取り上げましたが、さらに前からの継続でございませコストコ、アウトレットパークの交通渋滞対策についての要望についても取りまとめの方向で協議していくということよろしいですか。

〔(はい) という人あり〕

委員長 では、そのように今後協議してまいります。

次に、その他ですが、何かございますか。

金澤委員 今、その方向でと言ったのですけれども、今度また次、十分間があいてしまうので、どういふうに進めるのかというのをきょうちょっと話ししておかないと、お盆が入って、今度9月だとかになってしまうと、ちょっと間があいてしまって、大体12月議会をめぐりに1回取りまとめに入って、その後事務局のほうと報告書、議会に報告書の取りまとめをすると、逆算をしていくと、大分時間がなくて、あと二、三回ぐらいしか下手すると持てない可能性もありますので、ちょっときょうならきょうのうちに、どこをどう検討する方向性、段取りを、ちょっと話したほうがいいのではないかなと思うのですけれども、いかがでしょうか。

委員長 事務局にお伺いしますけれども、今後大体普通だとどういふうに進めますか。

事務局 今度改選ですので、2月議会が最終報告という形になるかと思えます。そこで、要望なり提案なりという形で議長に上げるという形になるかと思えます。それから逆算しますと、12月議会、9月議会、間で会議を設けたとしましても、二、三回程度かなというところなのですが、今3つほど課題が出ておりますので、一つ一つクリアしていかないと間に合わないかな

と思います。

以上です。

委員長 現実的にはそのような状況ですけれども、例えばこの次にこの委員会というのはいつごろ行いそうですか。

事務局 想定では9月議会中あたりかなと思うのですけれども、ですからそこではもう、例えば今の3つのうちの1つ、例えば渋滞をもうずっと継続してやっていますので、その関係だけでも要望事項をまとめるとか、そういう、まとまるかどうかは別としても着手しないと、最終的に2月には間に合わないのではないかなとは思いますが、以上です。

委員長 アウトレット、コストコについての交通渋滞につきましては、秋のシルバーウィークというのですか、その結果も踏まえてということになりますと、さらにおくれてしまうのですけれども、ほかに、この自転車の交通安全対策とか危険な踏切と市道の整備についてなども、特にアウトレット、コストコの渋滞対策の後ではなくて、別に先でも順番は構わないのですか。

金澤委員 私は、委員長がおっしゃられたように、交通渋滞対策について、秋口、10月ぐらいをめぐりにシルバーウィークを踏まえた後に、資料の取りまとめ忙しいのでしようけれども、10月なら10月でもいいと思うのですけれども、その踏切をやっていくと考えたときに、やっぱり地元の声というのもどこかで聞いたほうがいいのではないかなというので、私が参考人と言い出すと、何か不穏な空気が流れるのですけれども、今度協議会の形で、どこかの時点で地元のその踏切のある自治会長さんなりなんなりをお呼びして、生の声を聞くというのも一つの意見を集約する、市民の声を吸い上げる議会としての機能としてはいいのかなというふうに考えるのですけれども、いかがでしょうか。

委員長 そういう提言が出されましたけれども……。

小出委員 せっかく見に、私は行かなかったのですけれども、見に行ったのだから、こちらで判断して出していけばいいのではないかなというふうに思うのですけれども……。

永澤委員 それが一番確かにいい方法かもしれないのですが、今回上がってきたところは、地元の議員が日ごろから危ないのではという声を聞いて、それを受けて見に行った範囲だと思っていますので、さらに聞くということで何か得られるのかどうか、その辺にちょっと疑問を感じるころなのですけれども、それですぐにやることができれば、それはすごく聞く意味もあると思うのですけれども、基本的になかなか難しいところ、費用面とかいうのがありますので、その辺もあわせてちょっと注意をしていかないといけないところなのかなとは思っています。

委員長 ほかにご意見ございますか。

実質的には1月26日でしたか、現地を視察いたしまして、その直後でしたか、一度意見交換か何かを設けたかと思いますが、その以降は何もしていないのだろうと思いがけ

れども、踏切につきましては各地域、もう以前からその危険性を十二分に熟知しているそれぞれの地域の市議会議員、また今回初めて実際に知見して、その危険度を知ったというそういう条件の中で、我々委員の中で要望をまとめていく方向でよろしいでしょうか。

平山委員 先ほど金澤君も言ったけれども、自治会の区長を呼んでどうのこうのって言われたけれども、これは自治会のほうから上がってきて、我々は一般質問もしているわけだ。だから、自治会も十分承知しているわけなのだよ、これね。だから、さっき永澤さんが言ったように、もうその辺はいいのではないかなというふうに思っているのだけれども、だから要望書で提出するというようなことで。

金澤委員 皆さんが地元のことは全部わかるというのだったら、それで大丈夫かなとは思いますがけれどもね。

横田委員 踏切のときも後で意見交換会をやっていますし、今も自転車のことでやっていますので、そのときに各委員さんがそれぞれ発言していると思うので、それがあ程度意見になっていくのかなというふうに思うのです。それを前回のときと今回のをまとめて、それを軸に要望をつくっていけばいいのかなというふうに思うのですけれども……。

委員長 では、危険な踏切と市道の整備につきましては、この委員の中で、今までも現地調査や意見交換もございましたし、また今後そういう機会も1度ぐらいは設けて、要望としてまとめていく方向でよろしいでしょうか。よろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 次は自転車と交通安全対策については、今後も何回かの意見交換の場を設けて、どういふふうに、次回は9月定例会の最中あたりですか、実質的に、交通対策特別委員会が開催されるのは。

事務局 恒例でいきますと、大体きょうのパターンみたいな、一般質問の最後の日、あるいはその翌日というような形にはなるかと思えますけれども、今費用弁償がなくなりましたので、皆さん忙しいので何とも言えないのですけれども、いつということは決まっておりません、特には。ただ、恒例でいきますと、次は9月議会かなというところでございます。

以上です。

委員長 さまざまな諸般の事情や選挙などもありまして、いろいろお忙しいとは思いますが、次回、9月定例会の中で当交通対策特別委員会が開催されるという前提に、それぞれの各委員の方々が自分なりにまたさまざまな意見などについて考慮していただくと、そういうスケジュールでよろしいでしょうか。

金澤委員 もうでも、時間も回数も限られているのがわかっているわけですから、例えばそれこそ、10月は決算もあつたり、市長選挙もあつたりするので、9月、11月、12月、この3つでそれぞれさっき言った要望、3テーマを詰めていかないといけないと決まっていますので、9月

なら9月はもう踏切、要望書を取りまとめるのだと、例えば2週間前までに各会派が要望書の素案を事務局のほうに出すとか、それで10月は10月で自転車ですよと、12月はもう交通渋滞対策ですよという形で、各会派にはどんどん要望書を出していただいて、素案をまとめる方向に入っていったほうがいいのではないですか。例えばさっき言った自転車の保険の加入の状況、アンケートとってほしいと、わかりましたという話なのですが、要望書に関してはとても間に合わないの、その加入率をアンケート調査するなどのお願いをしたいと要望書にまとめるとか、今の段階でもう切った要望書にまとめたらいかがでしょうか。

委員長　　そういう意見がございましたけれども……。

通常ですと、恐らく9月定例会の一般質問の最終日あたりに交通対策特別委員会が開催される可能性が高いと思うのですけれども、いきなりその場というのではなくて、少し前の段階で各会派で取りまとめていただくということを私の委員長名で申し出ますので、各委員に、その段階で少し前もって取りまとめておいていただいて、9月定例会の最中の交通対策特別委員会では取りまとめやすいといいますか、できやすいものから要望をまとめていくという方向でよろしいでしょうか。

〔(3つ一遍にやるということ) という人あり〕

委員長　　いや、1つ、できやすいほうから。この時系列に言いますと、踏切、自転車の交通安全対策、最後が交通渋滞対策かと思えますけれども……。

関谷委員　今委員長と金澤さんが言ったとおりで、9月が踏切、11月が自転車、12月がアウトレット渋滞、その順番でどうでしょうか。

委員長　　ただし、交通対策特別委員会を11月に臨時に開催できればそういうふうにしたいと思えますし、もしかかなり諸般の事情で厳しい場合は……

〔(やらないと間に合わない) という人あり〕

委員長　　間に合わない。3回に分けて。決めてしまっていい。では、今の順番で、もう一回繰り返しますけれども、12月定例会最中の交通対策特別委員会では危険な踏切と市道の整備について……

〔(9月) という人あり〕

委員長　　9月、危険な踏切と市道の整備について、11月に臨時に交通対策特別委員会を設けますので、その際には自転車の交通安全対策について、12月定例会の最中に行われると想定されます交通対策特別委員会では交通渋滞対策と、その3つの順番ぐらいで要望をまとめていくという方向で今後協議してまいりたいと思えますけれども、よろしいでしょうか。

〔(はい、お願いします) という人あり〕

委員長　　さらに、ほかにご意見ございますか。

関谷委員　ちょっと確認したいのですけれども、ということは9月のその次の委員会のときまでに、

各会派の要望をまとめるというふうに受け取りましたけれども、最初に踏切と市道が来るのですけれども、この要望をまとめるというのは、内容としては、例えば6個視察に行きましたけれども、1個ずつそれぞれ挙げるのか、優先順位をつけてこいという意味なのか、どうとればいいのでしょうか。

委員長 素案ということで、それぞれの会派のお考えですから、優先順序について挙げるのもよいですし、これは例えば特定の1つだけに、余りそういうことはないと思いますけれども、これが重要です、ほかはいいですとは言わないけれども、そういうのもいろんな形態があるのではないかと思いますけれども……。

横田委員 終わった後に意見交換したときにある程度出ましたよね、それたしか。ここを重点とかというのがあった。だから、それが中心に多分いけばいいのではないかなと思うのですけれども……。

委員長 ほかにご意見ございますか。

〔(どれが優先なんて話したっけ) という人あり〕

委員長 本来は、長期総合振興計画では、牛沢が最優先なのですよ。ところが、ちょっと現地に行ったときに、ここは安上がりで比較的早く終わるのではないかとあって、ではこっちかなと思った委員の方もいらっしゃったようなんですけれども、でもそれぞれのご意見ですから。

次回の交通対策特別委員会に先立つ各会派の取りまとめにつきましては、事前に私の名前で通達いたしますので、よろしく願いいたします。

ほかにご意見ございますか。ありませんか。

〔(ありません) という人あり〕

委員長 なければ最後に、副委員長、ごあいさつをお願いいたします。

△ 閉会の宣告 (午後 3時34分)

副委員長 では、本会議終了後のお疲れのところ、交通対策特別委員会ということでどうもお疲れさまでした。

市民にとってよりよい交通行政とするために、また皆さんでお知恵を出し合って、これから進めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

これで交通対策特別委員会を閉じます。お疲れさまでした。

△ 署名

以上審査の次第は、正確なることを証するため、ここに署名する。

交通対策特別委員会委員長 宮 岡 治 郎